

令和 1 年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号	1
--------	---

事業区分	行政事務	事務事業評価の履歴 有				
事務事業名	賦課・徴収事務					
予算科目	2 款 2 項 2 目					
予算事業名	賦課徴収費					
総合計画での位置づけ	効率的で健全な行財政運営の推進					
担当課	税務課	担当課長	佐々木 信一			
事業担当者	猿渡 志乃	一次評価者	小森 真奈美			
事業の性格	法定事務					
法令根拠等	久山町税条例及び地方税法、国税徴収法、所得税法等					
事業の対象	町税滞納者					
事業の目的	<p>自主財源の確保や、納付の公平性を保つこと目的に、滞納繰越額の減少を図る。一定の滞納繰越額の減少を実現した後は、高次の徴収率を維持し続けるよう、新規の滞納者を重点に納税指導や滞納処分を行うとともに、必要に応じ申告相談や納付相談を行う。</p> <p>職員の異動後も新任者が円滑に徴収事務が行えるよう、継続的な職員育成の手段を図る。</p>					
実施期間	開始年度	平成 25 年度から				
	終了年度	令和 年度まで				
事業の内容	徴収事務に長け、税理士資格を持つ国税OBを週1回非常勤雇用し、滞納処分実施の指導、同伴による滞納(事業)者への臨戸調査や納税指導、事業所得者への適正申告指導、職員への徴税事務教育、町税のみならず贈与税や相続税などの国税も含め住民の税務相談実施等を行う。					
目的達成の指標	高額滞納者数(現年、繰越 20万円以上)					
	区分年度	単位	30 年度	1 年度	2 年度	3年度
	目標	人	21	18	17	16
	実績	人	21	17		
指標設定の考え方	高額滞納者を指標とすることで、全体の滞納額、滞納者数を抑制できているか判断できるため。					
事業遂行時懸案事項等						
事業実施時懸案事項対応等						

PLAN(計画)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 581円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項 目	30 年度予算	1 年度予算	2 年度予算	3 年度予算	
事務量	① 人工数	0.53	0.53	0.53	0.53
	② 人件費単価	7,350	7,555	7,137	7,137
	③ 補助事業人件費				
	人件費(①×②-③)	3,895	4,004	3,782	3,782
事業費	直接事業費	1,200	1,200	1,200	1,200
	人件費	3,895	4,004	3,782	3,782
	合 計	5,095	5,204	4,982	4,982
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	5,095	5,204	4,982	4,982
合 計	5,095	5,204	4,982	4,982	

事業費計画

(千円)

区分/年度	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
目 標	1,200	1,200	1,200	1,200	
実 績	1,200	1,200			

事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度
未収額(滞納分本税)	千円	13,000	13,000	13,000	13,000
		12,216	10,231		
未収額(現年分本税)	千円	4,700	5,500	5,500	5,500
		5,649	11,324		
徴収率(現年分本税)	%	99.62	99.65	99.68	99.68
		99.75	99.50		
滞納処分額(本税)	千円	1,000	1,000	500	1,000
		2,458	2,622		
滞納処分額(延滞金)	千円	70	70	70	70
		858	39		
個別相談・指導実施数	回	21	22	17	23
		14	20		
同伴臨戸・調査実施数	回	35	25	15	25
		28	16		

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 600円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項 目	30 年度決算	1 年度予算	1 年度決算	
事務量	① 人工数	0.53	0.53	0.53
	② 人件費単価	7,187	7,555	7,891
	③ 補助事業人件費		0	
	人件費(①×②-③)	3,809	4,004	4,182
事業費	直接事業費	1,200	1,200	1,200
	人件費	3,809	4,004	4,182
	合 計	5,009	5,204	5,382
財源内訳	国庫支出金		0	
	県支出金		0	
	地方債		0	
	その他		0	
	一般財源	5,009	5,204	5,382
合 計	5,009	5,204	5,382	

実施備忘録

--

自己評価	評価者	猿渡 志乃
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input checked="" type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	5	A
<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	5	
<input checked="" type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	5	
<input checked="" type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		A
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	5	
<input checked="" type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	5	
<input checked="" type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	5	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
<input checked="" type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	A
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	5	
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	5	
②効率性		
<input checked="" type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	5	A
<input checked="" type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	5	
<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	5	
③公平性・透明性		
<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	5	B
<input checked="" type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	5	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	2	

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> A重点化 <input type="checkbox"/> B現状のまま維持 <input type="checkbox"/> C見直し <input type="checkbox"/> D廃止 <input type="checkbox"/> E事業完了	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

平成25年度より国税OBの指導の下滞納者及び滞納額の縮減に努めており、高額滞納者数は年々減少している。今後も高額滞納者への折衝を継続してもらい滞納額のさらなる縮減に取り組んでいきたい。また、税務課のみならず町民生活課の国民健康保険担当者も含めて職員向けの研修を行っているため、職員の徴収への意識向上に繋がっている。税の公平性・自主財源の確保の観点から今後も事業を継続していくことが妥当であると考えている。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

今事業は未収入額および滞納者数の縮減に一定以上の成果を出していると評価している。福岡県内でも当町の徴収率はトップクラスであり、今後も堅持するべきである。本年度は不動産公売会を開催し、落札まで行うことができた。これは町にとって大きな財産となる。今後も滞納整理に関しては困難事案・長期事案が残されており、事案解決の為に国税OBの知識・経験が必要となってくると考える。

CHECK (評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

一次評価	評価者	小森 真奈美
------	-----	--------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ↔ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input checked="" type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	5	A
<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	5	
<input checked="" type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	5	
<input checked="" type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。	5	A
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	5	
<input checked="" type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	5	
<input checked="" type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	5	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
<input checked="" type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	A
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	5	
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	5	
②効率性		
<input checked="" type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	5	A
<input checked="" type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	5	
<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	5	
③公平性・透明性		
<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	5	A
<input checked="" type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	5	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

今後の方向性
<input type="checkbox"/> A重点化
<input type="checkbox"/> B現状のまま維持
<input type="checkbox"/> C見直し
<input type="checkbox"/> D廃止
<input type="checkbox"/> E事業完了

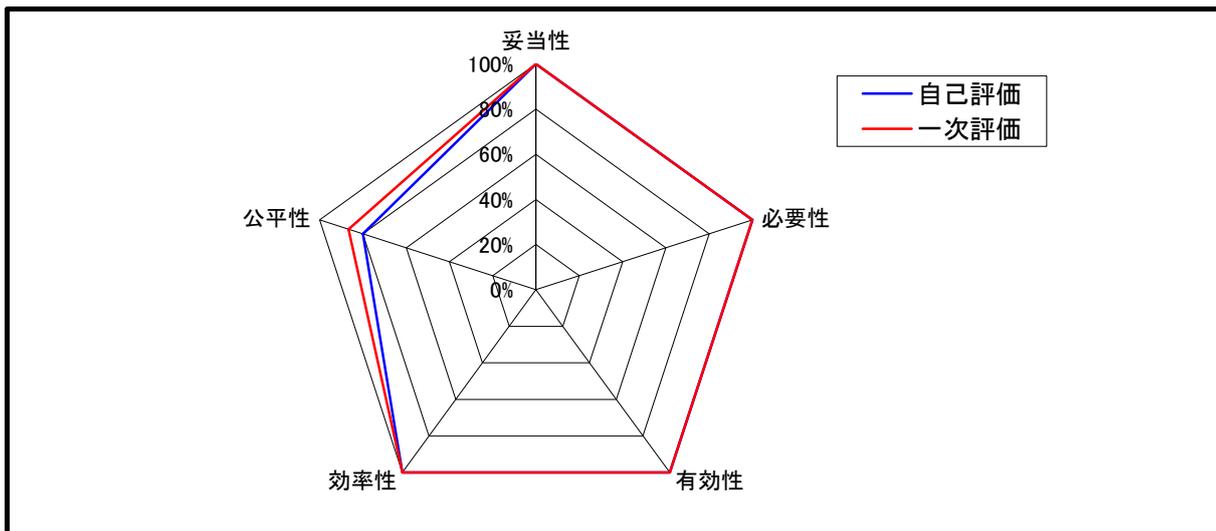
見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他



一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

本事業に係る直接事業費(税理士人件費)は、週1日(月4日)終日勤務で、1,200千円である。平成25年度末の町税滞納額は36,925千円であったが、税理士指導により、令和元年度末は21,555千円と、15,370千円減少した。7年間の税理士人件費総額(1,200千円×7年=8,400千円)により、15,370千円-8,400千円=6,970千円の滞納額縮減に寄与している。またこれは税務課分の町税のみであり、国民健康保険税等においても滞納処分の指導を仰ぎ、実行しており、実際の事業効果はさらに高い。相談においても、滞納のみならず、贈与や譲渡など、所得税の専門知識を要する複雑な案件について、住民の申告相談、指導を行っており、住民生活の安定に質している。現在の滞納分は、処理の困難な案件が多数あり、今後は従来のような多額の減少は見込みづらいが、より高度な処分手法を必要とすること、新規滞納者について適切な滞納処分を引き続き継続することによる滞納者への牽制、贈与等の所得税申告相談なども踏まえ、今後の事業継続は重要であると思われる。

自己評価・一次評価の傾向



二次評価	評価者	佐々木 信一
------	-----	--------

- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

国税OBを週1回非常勤雇用し、徴収実績豊富なアドバイスや研修、実務指導等を実施、職員の徴収意識の向上につながり、難度の高い滞納案件も解決している。県内でもトップレベルの徴収率であり、毎年、県知事から表彰を受け評価されている。更なる滞納額の圧縮を図り、納税の公平性や自主財源の確保につなげる。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり直し、
月 日
までに事務局へ提出すること。

- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会で評価する。
月 日
開催予定

- 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了
 外部評価へ

外部評価

今後の方向性
<input type="checkbox"/> A重点化
<input type="checkbox"/> B現状のまま維持
<input type="checkbox"/> C見直し
<input type="checkbox"/> D廃止
<input type="checkbox"/> E事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

外部評価委員の意見

経営者会議

経営者評価	
-------	--

今後の方向性
<input type="checkbox"/> A重点化
<input type="checkbox"/> B現状のまま維持
<input type="checkbox"/> C見直し
<input type="checkbox"/> D廃止
<input type="checkbox"/> E事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

経営者会議の評価

令和 3 年度予算要求事項(今後の取り組み)